

平成29年12月7日
株式会社 中国銀行

地方創生の取組事例について

当行では、岡山県内の市町村と連携して、新たに平成29年11月に総務省の「地域経済循環創造事業交付金（1）」の交付決定を受けた以下の事業を支援してまいります。

本件は、市町村を中心に地域が一丸となって、地域の課題解決を図る地方創生の好事例であり、当行は地域に根ざす金融機関として、この取組みに積極的に関与していきます。

市町村	浅口市
事業名	THE VIEW 瀬戸内 - 天空公園 HOTEL & SPA - ~ アジア 1の天空天文台隣接公園という地域資源の活性化 ~
事業主体	株式会社シャンテ（2） 代表取締役 安達 精治
事業の特色	<ul style="list-style-type: none">● 市の遊休資産となっている旧宿泊施設を改修し、国立天文台隣接という立地を活かしたホテルにリノベーション。● 地元の大学生の発案により、宿泊客に対してVRシステムを活用したサービスを取り入れ、星空の疑似体験プログラムを提供。● 新コンテンツの企画・開発等に学生が参加し、そのアイデアを積極的に活用。
公益的効果	<ul style="list-style-type: none">● 瀬戸内海の海中散策や歴史散策などのVRシステムのコンテンツと連動した体験ツアーを企画。コンテンツの開発は地元の芸術大学と連携。● 近隣観光地とも連携し、誘客性の高い広域周遊観光ルートを構築。
交付申請額	40百万円
融資予定額	80百万円
担当支店	矢掛支店
支店コメント	遙照山山頂に位置する当該ホテルを中心としたエリアは、瀬戸内海の多島美が一望出来る県内屈指の絶景スポットです。 国立天文台が設置されるなど満天の星空を眺めることにも優れた当地の重要な観光資源でもあります。 近日公開予定映画である「8年越しの花嫁」のロケ地としても利用されるなど注目のエリアです。さらに、江戸時代の風情を肌で感じられる歴史的町並みの残る矢掛町への周遊も期待できることから、積極的に協力していきたいと考えております。

（1）「地域経済循環創造事業交付金」について

「地域経済循環創造事業交付金」は、地方自治体が、地域の金融機関と連携して、地域の資源を活用して雇用を生み出す、先進的で持続可能な事業を支援する場合に、その事業化費用の一部を総務省が交付金として交付するものです。

(2) 株式会社シャンテのコメント

本事業は、「国立天文台を有する星空」「日本第3位の瀬戸内工業地帯」「瀬戸内海の島々の景観」という環境、「豊かな瀬戸内海の家産物」「日本一の手延べ麺」「瀬戸内海の塩」などの地場産品、これらの資源の活用に加えて、VR(バーチャルリアリティ)技術の導入と経験豊富な当社の専門知識を活用して、浅口市との「新たな産業基盤の構築」を目指すものです。

さらに本事業に関しては、学生の意見を継続して取り入れ、過去の概念にとらわれず斬新なアイデアを活用する日本で初のホテル事業とします。

矢掛町を本拠地とする当社は、矢掛町、浅口市、笠岡市をネットワーク化し、周辺地域を巻き込んだ広域観光における、地域経済の牽引企業を目指しています。



以 上